

資料ーイワウベツ川

河川環境調査総括表

河川名： イワウベツ川

調査年月日： 平成17年8月2日～15日(森林管理局)

- 注1) 河川環境は、河口より高さ1mの天然の滝（魚止滝）までを整理した。  
 注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている（図面：河川工作物及び河川環境の状況の工作物No、データ区分点を参照）。  
 注3) プールは工作物等下流の水深、広がり縦×横。 注4) 落差とは工作物等の流水面からプール水面までの高さ。  
 注5) 河床組成の①は礫なし、②は20cm以下の礫が主に混在、③は②以上の礫が主に混在、④は岩盤状を指しその占める割合を示す。

区間	区間長 (m)	工作物等落差 (m)	工作物下流側のプール (m)	工作物等越流水深 (m)	水面幅 (m)	河川水深 (m)	水温 (°C)	pH	河床組成 (%)	沈み石 (%)	河川形態(可児式)	スギゴケの有無	濁水の流入の有無	河畔林 (%)	枝沢の数	魚影を確認した魚種	
本流	河口～追1(サケマス)	86			10	0.3			③100	0	Bc	無	無	50	0	カラフトマス	
	追1(サケマス)～1(サケマス)	34	0.20	0.4, 1.2*9.0	0.15	10	0.3		③100	0	Bc	無	無	50	0	カラフトマス	
	1(サケマス)～2(サケマス)	217	1.00	1.0, 3.5*10.0	0.15	9	0.3		③100	0	Bb	無	無	50	0	カラフトマス	
	2(サケマス)～A	851	0	0	0.10	9	0.3	19.0	6.6	③100	0	Bb	無	無	50	0	カラフトマス
	A～B	1,375				7	0.3	18.7	6.5	③100	0	Bb	無	無	50	1	カラフトマス・サケマス
	B～C	511				5	0.3	18.6	6.6	③100	0	Aa	無	無	100	0	
	C～7(森管局)	41				5	0.3			③100	0	Aa	無	無	100	0	
	7(森管局)～3(森管局)	90	2.44	0.82, 2.5*7.0	0.05	4	0.2	19.2	8.2	③100	0	Aa	無	無	100	0	
	3(森管局)～D	328	2.58	0.93, 3.5*12.0	0.10	4	0.3			③100	0	Aa	無	無	100	0	
	D～追3(斜里町)	292				3	0.3	20.0	7.9	③100	0	Aa	無	無	100	0	
	追3(斜里町)～4(森管局)	232	0.19	0.61, 2.5*2.6	0.05	3	0.2	21.8	7.3	③100	0	Aa	無	無	100	1	
盤の川	4(森管局)～E	262	2.59	0.62, 2.5*8.0	0.04	3	0.2	21.9	7.4	②30 ③70	0	Aa	有	無	100	0	
	D～追2(斜里町)	45				3	0.2			③100	0	Aa	無	無	100	0	
	追2(斜里町)～F	799	2.18	0.2, 1.0*1.0	0.10	3	0.2	18.0	7.4	③100	0	Aa	有	無	100	0	
	ピリカベツ川	C～10(森管局)	104				3	0.2	20.7	6.9	③100	0	Aa	無	無	100	0
8(森管局)～G		365	2.51 1.98	0.3, 2.0*6.0 0.1 1.1*5.0	0.04 0.04	3	0.2	20.3	7.4	②30 ③70	0	Aa	無	無	100	0	オショロコマ
G～H		700				2	0.2	20.0	7.1	③100	0	Aa	無	無	100	0	
G～I		370				1	0.1	20.0	7.1	③100	0	Aa	無	無	100	0	

## 河川環境調査総括表

河川名： イワウベツ川

調査年月日： 平成17年8月2日～15日(森林管理局)

注1) 河川環境は、河口より高さ1mの天然の滝(魚止滝)までを整理した。

注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている(図面：河川工作物及び河川環境の状況の工作物No、データ区分点を参照)。

注3) プールは工作物等下流の水深、広がり縦×横。 注4) 落差とは工作物等の流水面からプール水面までの高さ。

注5) 河床組成の①は礫なし、②は20cm以下の礫が主に混在、③は②以上の礫が主に混在、④は岩盤状を指しその占める割合を示す。

区間	区間長 (m)	工作物 等落差 (m)	工作物下流側の プール(m)	工作物 等越流 水深(m)	水面幅 (m)	河川 水深 (m)	水温 (°C)	pH	河床組成(%)	沈み石 (%)	河川形 態(可児 式)	スギゴ ケの有 無	濁水の 流入の 有無	河畔林 (%)	枝沢の 数	魚影を確認し た魚種	
赤い 川	A~1(斜里町)	24			5	0.4	21.0	6.6	③100	0	Aa	無	無	100	0		
	1(斜里町)~11(森管局)	150	1.50	0	0.15	5	0.4		③100	20	Bb	無	無	100	0	オショロコマ	
	11(森管局)~12(森管局)	59	2.08	0.71, 5.0*14.0	0.10	5	0.3	18.6	7.6	②100	30	Bb	無	無	100	0	
	12(森管局)~13(森管局)	139	3.22	0.75, 5.0*24.0	0.06	5	0.3			②60 ③40	20	Bb	無	無	100	0	オショロコマ
	13(森管局)~J	231	3.15	0.3, 3.0*34.0	0.04	5	0.2	18.0	7.1	①50 ②50	20	Bb	無	無	100	0	
	J~L	590				4	0.2	19.0	4.4	③100	0	Aa	有	無	100	0	
白い 川	J~K	1,370			3	0.3			③100	0	Aa	有	無	100	1	オショロコマ	

## 土砂動態調査総括表

河川名：        **イワウベツ川**

注1) 土砂動態は流域全域を整理した。

注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている。

注3) 区間は、別添の図面（崩壊地及び溪流内滞留土砂）内の工作物No、データ区分点を参照する。

区間	区間長 (m)	山腹状況						溪流内滞留土砂 (m <sup>3</sup> )
		山腹崩壊地		特殊荒廃地		復旧崩壊地		
		個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)	
河口～追1 (サケマス)	86							600
追1 (サケマス)～1 (サケマス)	34							840
1 (サケマス)～2 (サケマス)	217							1,000
2 (サケマス)～A	851	1	0.08					6,920
A～B	1,375	4	0.19			1	0.06	9,040
B～C	511	1	0.04					5,380
C～7 (森管局)	41							100
7 (森管局)～3 (森管局)	90	1	0.02					50
3 (森管局)～D	328	1	0.13					6,590
D～追3 (斜里町)	292	1	0.04					1,750
追3 (斜里町)～4 (森管局)	232	3	0.35			1	0.05	100
4 (森管局)～E	262	1	0.21					250
E～M	336	1	0.06					250
M～上部すべて	3,527	32	10.59	9	1.82	16	4.74	2,820
計	8,182	46	11.71	9	1.82	18	4.85	35,690

## 土砂動態調査総括表

河川名：        **イワウベツ川**

注1) 土砂動態は流域全域を整理した。

注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている。

注3) 区間は、別添の図面（崩壊地及び溪流内滞留土砂）内の工作物No、データ区分点を参照する。

区間	区間長 (m)	山腹状況						溪流内滞留土砂 (m <sup>3</sup> )	
		山腹崩壊地		特殊荒廃地		復旧崩壊地			
		個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)		
温泉川	M~5(森管局)	234							
	5(森管局)~6(森管局)	117	1	0.02				250	
	6(森管局)~上部すべて	529	11	1.02	2	0.06	2	0.15	300
	計	880	12	1.04	2	0.06	2	0.15	550
盤の川	D~追2(斜里町)	45							
	追2(斜里町)~F	799	9	0.25					3,230
	F~9(森管局)	1,434	5	0.15					1,650
	9(森管局)~上部すべて	3,445	36	9.55	8	2.38	43	5.20	3,590
	計	5,723	50	9.95	8	2.38	43	5.20	8,470
ピリカベツ川	C~10(森管局)	104							300
	8(森管局)~G	365	1	0.02					2,350
	G~H	700	1	0.01					6,060
	G~I	370							115
	H~上部すべて	1,950	14	1.94	4	0.46	12	4.45	2,230
	I~上部すべて	800	3	1.39	1	0.10	6	0.41	300
	計	4,289	19	3.36	5	0.56	18	4.86	11,355

## 土砂動態調査総括表

河川名：        **イワウベツ川**

注1) 土砂動態は流域全域を整理した。

注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている。

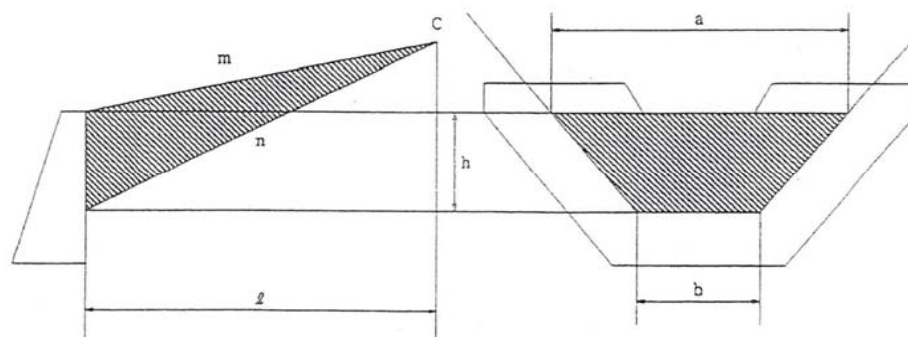
注3) 区間は、別添の図面（崩壊地及び溪流内滞留土砂）内の工作物No、データ区分点を参照する。

区間	区間長 (m)	山腹状況						溪流内滞留土砂 (m <sup>3</sup> )	
		山腹崩壊地		特殊荒廃地		復旧崩壊地			
		個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)		
赤い川	A~1 (斜里町)	24							
	1 (斜里町) ~11 (森管局)	150						480	
	11 (森管局) ~12 (森管局)	59						60	
	12 (森管局) ~13 (森管局)	139	1	0.12				560	
	13 (森管局) ~J	231	1	0.04				2,200	
	J~L	590	4	0.37				1,200	
	L~追5 (開発局)	1,790	5	0.35				4,645	
	追5 (開発局) ~2 (森管局)	73						50	
	1 (森管局) ~追6 (開発局)	630	5	0.26				770	
	追7 (開発局) ~追8 (開発局)	5,050	14	1.5	1	1.32	5	4.72	3,390
	追8 (開発局) ~追9 (開発局)	500	3	0.71					400
	追9 (開発局) ~上部すべて	100	5	2.37					
	追10 (開発局) ~追11 (開発局)	280	1	0.09			1	0.07	250
	追11 (開発局) ~上部すべて	100	2	2.02			4	0.34	
計	9,716	41	7.83	1	1.32	10	5.13	14,005	
白い川	J~K	1,370	4	0.26			1	0.08	2,300
	K~上部すべて	2,500	20	4.75	14	4.89	18	1.79	2,480
	計	3,870	24	5.01	14	4.89	19	1.87	4,780
合計	32,660	192	38.90	39	11.03	110	22.06	74,850	

推定貯砂量計算式

$$V = \frac{l}{6} \cdot \frac{h^2}{n-m} \cdot (a+b+c) \cdot \alpha$$

V : 推定貯砂量  
 h : 治山ダム有効高  
 a : 放水路部の有効幅  
 b : 溪床部有効幅  
 c : 堆砂区域末端の溪床幅  
 α : 割増係数 (ポケットの状態で1.0~1.5)  
 l : 堆砂区域長  
 n : 現溪床勾配  
 m : 計画勾配



イワウベツ川															
因子		森林管理局ダム											斜里町	さけます増殖事業協会	計
		No1	No3	No4	No5	No6	No7	No8	No9	No11	No12	No13	No1	No1	
放水路部有効幅 (m)	a	18	39	16	21	19	25	45	14	22	37	60	10	40	
溪床部有効幅 (m)	b	13	20	10	12	11	19	15	12	15	26	36	7	36	
堆砂区域末端の溪床幅 (m)	c	10	20	8	23	8	20	15	15	15	26	36	15	40	
ダム設置前の溪床勾配	n	0.078	0.055	0.064	0.138	0.124	0.058	0.069	0.074	0.062	0.043	0.023	0.033	0.026	
堆砂勾配	m	0.045	0.043	0.036	0.051	0.058	0.033	0.04	0.017	0	0.021	0.008	0.022	0.01	
ダム有効高 (m)	h	3.5	2.5	2.5	3.5	4	2.6	3	1.4	1.7	2.5	3	1.2	1	
割増係数	α	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
貯砂量 (m³)	V	2,537	6,858	1,265	1,314	1,535	2,884	3,879	235	404	4,214	13,200	698	1,208	40,231